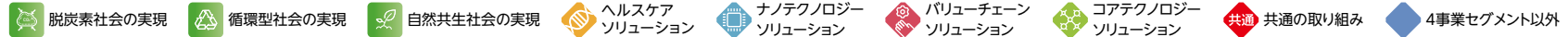


[活動計画]



	取り組み内容	社会・環境価値	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画
6	<p>商用EVフリート^{*1}マネジメント事業者を起点に、リチウムイオン電池のリユース・リサイクル、製造などのバリューチェーンにおいて、顧客の企業価値を向上させるソリューションを開発し提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> EVへの移行促進 リチウムイオン電池資源の寿命延伸 貴重な有価金属の有効活用 生産・リサイクル工程の環境負荷軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 電車載リチウムイオン電池用遠隔劣化診断サービス事業の開発、顧客PoC・PoV実施 EV導入に伴うCO₂排出抑制効果等の数値化を可能にする、EV移行シミュレーションアプリを開発中 	<ul style="list-style-type: none"> 車載リチウムイオン電池用遠隔劣化診断サービス事業の顧客PoC・PoV実施、事業化準備 EV移行シミュレーションアプリを用いて、EV車の新規導入・内燃機関車(ガソリン車、ディーゼル車等)からの切替提案作成業務でのPoV実施 	<ul style="list-style-type: none"> EV・リチウムイオン電池等のバリューチェーンを構成する、カーリース等のフリート事業者・再生事業者・蓄電事業者などに、当該ソリューションをパートナー企業と共に、グローバルに提供
7	<p>リサイクル材を使用したアルミニウム製品の製造を可能にする新工法の開発と提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> モノづくりにおけるアルミリサイクル実現への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル100%材のアルミ板新工法(アルミホットスタンプ)を事業化。量産化に向けパートナーと協業開始 リサイクルアルミ100%のアルミ板を用いて、椅子、スノープッシャーへの適用のほか、国内自転車メーカーと協業して自転車のフレームを開発しフェスタに出展 産業用ロボットの研究開発で試作に参画 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルアルミ100%のフレームを用いた自転車の量産販売化への取り組み実施 産業用ロボットへの適用検討を企業と実施 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルアルミ100%のフレームを用いた自転車の量産販売化 産業用ロボットへの適用検討を企業と継続
8	<p>当社国内グループの資源利用効率および水利用効率の改善に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省資源、廃棄物削減および水資源の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物発生量:原単位38.9%改善^{*2} 水使用量:原単位61.9%改善^{*2} 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物発生量:原単位38.0%改善^{*2} 水使用量:原単位67.9%改善^{*2} 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物発生量:原単位38.1%以上改善^{*2} 水使用量:原単位49.5%以上改善^{*2}
9	<p>生物多様性保全の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然共生社会の実現への貢献 従業員が地球環境保全の面から業務・事業を見直す意識の向上と活動の実施 	<p>生物多様性保全活動の実施と、従業員への活動機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高尾の森自然学校」での活動開始 「日立ハイテクサイエンスの森」にて、インセクトホテル増設とメンテナンス実施 「日立ハイテクやさとの森」にて、地域在来種植樹、観察 在宅でできるハイブリッドな生物多様性保全活動を実施 	<p>生物多様性保活動の実施と、従業員への活動機会の提供継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高尾の森自然学校」での活動内容、参加対象者の拡大 「日立ハイテクやさとの森」にて、枝打ち、鳥の巣箱の整備、観察 在宅でできる生物多様性保全活動の実施 「日立ハイテクサイエンスの森」環境省 自然共生サイト認定 	<p>生物多様性が保全される地域と種の拡大をめざした活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日立ハイテクサイエンスの森」OECM^{*3}登録 「日立ハイテクやさとの森」針広混交林エリアの拡充

*1 運送会社やバス、タクシー、レンタカー、リース会社など、人や物の移動を目的に、多くの車両をもとに運用する事業者
 *2 基準年度:2010年度
 *3 国立公園などの保護地区以外の、生物多様性を保全しうる地域での、民間と連携した自然環境保全